

(様式 1-3)

山元町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成30年3月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	26	事業名	農水産物販売促進施設他建設事業	事業番号	C-2-1
-交付団体		山元町	事業実施主体 (直接/間接)	山元町	
総交付対象事業費		375,313 (千円)	全体事業費	375,313 (千円)	

事業概要

山元町の基幹産業は農業であり、温暖な気候と恵まれた地の利を活かし、イチゴやリンゴ、水稻など四季折々の様々な農作物が栽培されてきた。

このような中、町の農業を牽引するイチゴを主力商品に、季節の野菜や農産加工品も販売する山元町農産物直売所「夢いちごの郷」、また、町の農水産物・田園資源を情報発信する山元・亘理田園空間博物館「笠野学堂」及び「磯恩賜郷倉」は、農業振興の拠点であるとともに、町内外の交流拠点として町の経済を支えてきたが、いずれも沿岸部に位置していたため、東日本大震災による津波被害により、建物は全壊し、機能の全てが失われた。

このため、本事業により、上述の被災した3施設の機能を集約した農水産物販売促進施設を整備し、もって町の農業や経済の復興を図る。

なお、農水産物販売促進施設等の整備に当たっては、被災3施設の復旧見合いで整備を行う。

(整備概要)

- ・農水産物販売促進施設 467.04 m<sup>2</sup>  
(直売所機能及び総合案内所機能 300.18 m<sup>2</sup>、加工機能 45.45 m<sup>2</sup>、その他 121.41 m<sup>2</sup>)
- ・駐車場 5,590 m<sup>2</sup>
- ・広場 1,600 m<sup>2</sup>

(被災3施設と今回整備内容比較)

項目	山元町農産物直売所「夢いちごの郷」	山元・亘理田園空間博物館総合案内所「笠野学堂」	山元・亘理田園空間博物館サテライト「磯恩賜郷倉」	従前施設合計	農水産物販売促進施設
建物面積	84 m <sup>2</sup>	364 m <sup>2</sup>	35 m <sup>2</sup>	483 m <sup>2</sup>	467 m <sup>2</sup>
駐車場面積	約 1,600 m <sup>2</sup>	約 1,180 m <sup>2</sup>	約 2,960 m <sup>2</sup>	約 5,740 m <sup>2</sup>	5,590 m <sup>2</sup>
広場面積	約 800 m <sup>2</sup>	約 600 m <sup>2</sup>	約 800 m <sup>2</sup>	約 2,200 m <sup>2</sup>	1,600 m <sup>2</sup>
敷地総面積	2,492 m <sup>2</sup>	4,248 m <sup>2</sup>	3,800 m <sup>2</sup>	10,540 m <sup>2</sup>	9,460 m <sup>2</sup>

※山元町震災復興計画該当箇所及び概要

- ・6 復興のポイントと方向性－(2) 産業－①農業
- ・農水産物直売所を加工施設や研修施設及び総合案内所等と一体的に建設し、地域間交流の拠点として活用する。

<b>当面の事業概要</b>	
<p>&lt;平成 29 年度&gt; 建設のための測量・設計を行う。</p> <p>&lt;平成 30 年度&gt; 施設の建設工事を行う。</p>	
<b>東日本大震災の被害との関係</b>	
<p>東日本大震災に伴う津波により、山元町の農地の 59%にあたる 1416ha が冠水したほか、山元町農産物直売所「夢いちごの郷」、山元・亙理田園空間博物館「笠野学堂」及び「磯恩賜郷倉」が全壊するなど、多大な被害があった。</p> <p>本事業は、前述の通り被災した 3 施設の復旧見合いで、各施設が持っていた機能を集約した農水産物販売促進施設を整備するものである。</p>	
<b>関連する災害復旧事業の概要</b>	

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

<b>関連する基幹事業</b>	
事業番号	
事業名	
交付団体	
<b>基幹事業との関連性</b>	

(様式 1-3)

山元町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成30年3月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	77	事業名	水産業共同利用施設復興整備事業(駐車場整備)	事業番号	◆C-7-3-1
交付団体	山元町		事業実施主体(直接)	山元町	
総交付対象事業費	37,079千円		全体事業費	37,079千円	
事業概要					
被災地の漁業集落跡地において、現位置で復旧することができない公共施設(一般用駐車場)を、周辺の土地利用状況に合わせて整備することを目的とする。					
当面の事業概要					
<平成30年度(上期)> 公共施設整備(一般用駐車場及び同駐車場向け取付道路)工事一式 (今回申請)					
東日本大震災の被害との関係					
磯浜漁港の背後集落は、漁家比率1位の集落であったが、東日本大震災の地震、及び津波により、一切が流失した。 このことにより、今後の施設復旧については「安全対策を第一」に考え、防潮堤の嵩上げや、避難路の整備をするとともに、震災前と同じような漁港との一体性を意識しながら、周辺の環境整備を実施するものである。					
関連する災害復旧事業の概要					
磯浜漁港施設災害復旧 14施設 C=574,293千円					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	C-7-3
事業名	水産業共同利用施設復興整備事業(漁港環境復興整備)
交付団体	山元町
基幹事業との関連性	
基幹事業(C-7-3)は、磯浜漁港内に被災前に整備されていた環境施設を復旧することを目的とするが、新設された防潮堤と乗り越え道路により、同位置での復旧が不可能となったことから、場所を変えて復旧する事業である。 本事業については、上記基幹事業と同様に、新設された防潮堤と乗り越え道路の影響により復旧することが出来ない駐車場について、場所を変えて整備するものであり、基幹事業で整備される環境施設との一体性をこれまで同様に確保することで、より効率的かつ効果的に、施設利用が図られることが期待される。	